第7回　韓日・日韓交流フォーラム

AIと地域活性化

2026 11/27 Fri.　14:00▶ 17:20（予定）

新潟日報メディアシップ
2階 日報ホール（新潟市中央区万代3-1-1）

参加無料
定員150人
（事前申込制・先着順）

暮らし、産業、教育など、さまざまな分野に広がるAIの活用。
地域の課題解決や、新たな価値の創出に、
どのようにつなげられるでしょうか。
韓国と日本の政策や実践事例を紹介し、両国の知見を持ち寄りながら、
AIを生かした地域活性化の可能性を考えます。

プログラム

※プログラムは変更になる場合があります。

基調講演 14:05～15:05

日韓の視点から、AIと地域の可能性を考える

若杉 隆平氏（新潟県立大学 学長）
金 紀柄氏（初代京畿道AI局長［CIO&CAIO］）

事例発表 15:10～16:10

行政・食・通信・農業・教育の現場から

藤田 拓志氏（新潟県産業労働部 創業・イノベーション推進課長）
勝見 一生氏（新潟大学 特命教授・上席UA／フード&ヘルスイノベーション共創センター戦略室長）
満留 大介氏（NTT東日本株式会社 新潟支店長）
文 晶郁氏（株式会社ノマン 代表）
金 東魯氏（株式会社 IT Tech 代表）
菅 一典氏（新潟県教育庁高校教育課 将来構想推進室長）

パネル討論 16:25～17:15

AIの活用を、地域の力につなげる

政策、研究、産業の視点から、AIによる地域活性化の可能性と、実践に向けた課題を議論します。

パネリスト
金 紀柄氏（初代京畿道AI局長［CIO&CAIO］）
藤田 拓志氏（新潟県産業労働部 創業・イノベーション推進課長）
秋山 太郎氏（新潟県立大学 教授・データサイエンス教育センター長）
満留 大介氏（NTT東日本株式会社 新潟支店長）
文 晶郁氏（株式会社ノマン 代表）

コーディネーター
鶴間 尚氏（新潟日報生成AI研究所 代表取締役社長）

AI同時通訳付き　日本語・韓国語の発言をAIで翻訳し、会場スクリーンに字幕表示します。　協力：株式会社コナンテクノロジー

ホワイエでは、AI事例シュミレーションも実施します。

登壇者紹介は裏面をご覧ください。

お申し込み方法

代表者の郵便番号、住所、氏名、電話番号、参加人数（1通につき2名まで）を明記し、はがき、FAX、申込フォームのいずれかでお申し込みください。はがき・FAXには「韓日・日韓交流フォーラム係」と明記してください。

■はがき／〒950-8535 新潟市中央区万代3-1-1
新潟日報社 総合プロデュース室
「韓日・日韓交流フォーラム係」
■FAX／025-385-7476
■右記申込フォームからもお申し込みいただけます ▶

【締め切り】11/18(水) 必着（先着順）

※ご来場いただける方には、11月20日(金)までに参加券または参加案内のメールをお送りいたします。　※ご応募の際の個人情報は、当事業の運営にのみ使用いたします。

主催｜駐新潟大韓民国総領事館、新潟日報社　共催｜新潟県立大学
後援｜新潟県、新潟市

お問い合わせ／新潟日報社 総合プロデュース室　TEL：025-385-7473（土日祝を除く10:00～17:00）

第7回　韓日・日韓交流フォーラム

AIと地域活性化

登壇者プロフィール



若杉 隆平氏
（わかすぎ・りゅうへい）
新潟県立大学 学長

経済学博士（東京大学）。専門は国際経済学。日本企業の国際化やイノベーション、地域経済などを研究。著書に『基礎から学ぶ国際経済と地域経済』『現代日本企業の国際化』など。

基調講演



金 紀柄氏
（キム・ギビョン）
初代京畿道AI局長（CIO&CAIO）

ソウル大学校コンピュータ工学科博士課程を経て、HP、LG電子、韓国の行政機関、AWS Koreaなどの要職を歴任。京畿道のAI基盤構築などの功績により、2025年に大統領表彰を受賞。

基調講演・パネル討論



藤田 拓志氏
（ふじた・ひろし）
新潟県産業労働部 創業・イノベーション推進課長

2019年に経済産業省入省。電源への投資促進、企業買収に関する指針、事業再生に向けた法制など、政策・制度の設計に携わる。2025年7月から現職。

事例発表
パネル討論



勝見 一生氏
（かつみ・かづき）
新潟大学 特命教授・上席UA フード&ヘルスイノベーション 共創センター 戦略室長

「にいがた2kmおいしさDX産学官共創プロジェクト」で、「おいしさ」のデータ化とAI活用による食産業の高付加価値化に取り組む。フードテック分野の産学連携や人材育成も推進。

事例発表



満留 大介氏
（みつどめ・だいすけ）
NTT東日本株式会社 新潟支店長

NTT東日本入社後、新ビジネス推進室でのアライアンス戦略、神奈川事業部でのマーケティング、ビジネスイノベーション本部での企画などを担当。2026年7月から現職。

事例発表
パネル討論



文 晶郁氏
（ムン・ジョンウク）
株式会社ノマン 代表

コンピュータサイエンス博士（韓国・KAIST）。専門はロボット・AI。回転式垂直栽培台と両腕ロボット、AI制御技術を組み合わせ、農作業の負担軽減と生産性向上を目指すスマートファームを開発。

事例発表
パネル討論



金 東魯氏
（キム・ドンロ）
株式会社 IT Tech 代表

IoT専門家。Hyundai Mobis・SK INNOACE・SAMSUNG SDI等で約20年活躍後、2019年に創業。畜産とITを融合したAI家畜管理システム「AI CDS」で、スマート畜産市場をリードしている。2025年に農林畜産食品部長官賞を受賞。

事例発表



菅 一典氏
（すが・かずのり）
新潟県教育庁高校教育課 将来構想推進室長

2005年に新潟県立高校教諭として採用。県教育庁の指導主事、県立高校教頭、管理主事を経て、2026年度から現職。県立高校の将来構想に基づく再編整備や、魅力と特色ある学校づくりを担当。

事例発表



秋山 太郎氏
（あきやま・たろう）
新潟県立大学 教授 データサイエンス教育センター長

横浜国立大学経済学部長などを歴任し、新潟県立大学に着任。国際経済学部長を経て、全学のデータサイエンス教育を推進。専門はマクロ経済学、イノベーションと経済成長の経済分析。

パネル討論



鶴間 尚氏
（つるま・ひさし）
新潟日報生成AI研究所 代表取締役社長

1988年、新潟日報社入社。報道部記者、論説編集委員、総合プロデュース室長、東京支社長などを経て現職。新潟日報社成長戦略特別室参与、新潟日報デジタル・イノベーション取締役。

パネル討論
コーディネーター

AI事例シミュレーション

AIの可能性に、ふれてみよう。



三条市立大学
AIスマート試着室

ホワイエでは、AIに関する展示・シミュレーションを実施します。フォーラムとあわせて、ぜひお立ち寄りください。

出展団体 | 新潟日報生成AI研究所・長岡大学・三条市立大学・IT Tech

主催 | 駐新潟大韓民国総領事館、新潟日報社
共催 | 新潟県立大学
後援 | 新潟県、新潟市

お問い合わせ／新潟日報社 総合プロデュース室　TEL：025-385-7473
（土日祝を除く10:00～17:00）